

令和3年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

2.4 山形県立米沢商業高等学校

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 学校教育目標 | 校訓「至誠」と「進取」のもと、変化する社会に柔軟に対応できる力を育むとともに、社会に有為なビジネスリーダーの育成に努める。 | 重点目標 | ① いのちをつなぐ人づくり ・ いじめのない学校・教育相談の充実・危機管理 ② 学びを生かす人づくり ・ カリキュラムマネジメントの推進・授業改善・校内研修 ③ 地域をつくる人づくり ・ コミュニケーション能力の育成・地域からの信頼 |
| めざす学校像 | ② 明るく元気で生き生きとした学校 ② 生徒の個性と可能性を引き出す学校 ③ 地域社会に貢献する学校 | ① 心身ともに健康な生徒 ② 知性と感性を磨く生徒 ③ 自律的社会性を持つ生徒 | |

| | | | | |
|-----|--------|----------|-----------|---------|
| 達成度 | A・・・達成 | B・・・概ね達成 | C・・・やや不十分 | D・・・不十分 |
|-----|--------|----------|-----------|---------|

| 評価項目 | 具体的方策と指標・基準等 | 目標達成状況及び取組み状況 | 達成度 | 次年度に向けた改善策 |
|--------|--|--|-----|---|
| 1 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 各学科の特色ある教育課程を適切に運用する。 生徒一人ひとりの良さを評価しながら、主体的に学ぶ意欲や態度等様々な能力を育てる。 「わかる・力がつく・楽しい」授業づくりの研究と実践 いじめのないお互いを尊重できる人間関係を構築させる。 自らの服装、マナー、言葉遣いに気をつけ、気づかせ、自律を促す。 生徒会・部活動を奨励し、リーダーを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業時数の確保に努めながら、令和4年度の漸進的課程を完成した。 ICTを活用した多彩な授業形態について研修を進め、教室プロジェクトを活用した授業展開を行った。 目標や課題を明確にしたがらシラバスに基づいた授業を行った。 いじめアンケートを2回実施。記名式にしたことにより追跡しやすくなった。 学期末の服装検査の他に衣替のタイムイングで生徒昇降口に立ち指導を行った。 コロナ禍の影響があったが、全体的には部活動も生徒会活動も活発的に行われた。生徒会の応援等の引継ぎが心配。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 各科目において観点別評価の評価基準を明示した指導計画の作成。 ICT機器を活用した新たな授業展開ができるよう教員のスキルアップ。 SNS関係のトラブルは1件のみ。SC機会を増やし生徒が相談しやすい環境を作りたい。 部活動で目標を見失ったり、転部したりする生徒のフォロー |
| 2 生活指導 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年の進路指導計画に基づいた進路意識を持たせる。 キャリア教育の視点に立ち計画的・組織的な進路指導を実施 学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の向上を図り、資格取得等を通じた進路実現。 | <ul style="list-style-type: none"> 進路の手引きを作成し、年間を通して生徒の進路に対する意識変化が見られた。 「企業を知る」「就職先」等を実施して職業観を育成することができた。 朝学習、定期考査前の学習会、検定学習会等において学習習慣が確立し、生徒の進路実現に繋がったと思われる。 | B | <ul style="list-style-type: none"> コンソーシアムと連携したキャリア教育を進めていく。 進路実現には日々の授業やキャリアに合った検定取得やイベント能力の向上必須。 |
| 3 進路指導 | | | A | |

| 学校関係者評価 | 意見・要望・評価等 |
|---------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 地区内すべての中学校訪問を実施したことは有益であった。 米工との統合も踏まえ、大きな意味で言えば将来の世界を見据えた教育内容検討 大きな問題行動もななく生徒指導がきめ細やかに行われている。 コロナ禍の中でも生徒の安全、安心に配慮しながら各種学校行事や部活動が行われた。 段階を踏んだ進路指導になっている。地域コンソーシアムや大原簿記学校との連携により更に深まりが期待できるものである。 |

| 総括 |
|---|
| <p>○ コロナ禍の中であったが、例年に近い教育活動ができた。部活動や生徒会行事は形を変えてでも実施できたことは大きな進歩であった。また、本年度ICT機器が導入され、それを活用した授業展開を行うことができた。来年度は一人一台PC導入予定であるので、更に効果的な授業展開を目指す。</p> <p>○ 令和7年度に迫った米沢産業(仮称)開校に向け、より一層米沢工業高校との連携が必要である。令和4年度は目に見える形で準備を進めていきたい。</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 自己評価及び学校関係者評価の改善点等 | <ul style="list-style-type: none"> 外部講師の派遣や地元企業からの協力など学校外の教育資源を効果的に活用し、魅力ある学校づくりに取り組んできた。特にキャリア教育については先進的な企画を行っている。今後はコンソーシアムと連携した今までにない取り組みを行ってみたい。 学校の教育活動についての情報発信に努めた。特に毎日投稿したインスタグラムは高く評価され、在校生はもちろん保護者、地域、中学生に対して米商をPRできた。更にホームページの充実も図りながら県内一の情報発信を目指す。 |
|--------------------|--|